

◆横芝・光の合併

問 横芝・光での利益、不利益
答 合併の利益の一つは議員や各種委員等の非常勤特別職、町職員等の削減した経費を他の分野で活用できることなど、行政改革的効果と考えています。

また、両町民が力を合わせまちづくりを進めることで、不利益と思われることも利益に変わってくると考えます。

◆大総新道の維持管理

問 開通後16年、修理等は

答 修繕については、取立排水路上の段差処理として舗装のすりつけを一回実施しています。最近、長倉地先の山すその部分の老朽化が特に目立っていますので早い段階に修繕を施し、安全に寄与いたします。

川島富士子 議員

◆健康福祉

問 ①小児救急電話相談事業の取り組みについて

②全自動体外式除細動器(AED)の設置について
③低髄液圧症候群・脳脊髄液減少症の治療(ブラッドパッチ療法)の取り組みについて

答 ①この事業は、当番となった小児科医が保護者等の電話相談に応ずるもので、県において医師会等と調整中ですので、町としても動向を見極め対応します。

②医療用具のAEDを使用する場合、心停止者の安全を確保するための知識が必要であり、消防組合でも、一般救急救命講習会とあわせて今後AED講習を検討中ですので、関係機関と連携をとり対応します。

③交通事故等によるむち打ち症と診断され、事故後の慢性的な頭痛や首・背中の痛み等の症状と低髄液圧症候群との因果関係及び治療法のブラッドパッチ療法は、研究が進められている段階ですので、国における学術的な研究を見守っていきたいと考えています。

◆災害に強いまちづくり

問 ①「横芝町耐震診断助成制度」を行ってはいかがが

②いわし博物館(九十九里町)での爆発事故から本町における危機管理体制の取り組みについて
答 ①千葉県並びに県内各市町

村で構成している千葉県建築防災連絡協議会等とも連携を取り合い、内容や実施方法について十分検討します。

②爆発要因が天然ガスによるものとは特定され、当町でも、上堺地区において天然ガスの採取が行われていますので、上堺小学校等の公共施設について、消防署にお願いし点検を実施しました。また、事故防止の広報を行ったほか一般住宅等も希望によりガス検知器で調査ができます。

齊藤 隆 議員

◆合併問題

問 ①合併協議の進捗状況

②新町の組織概要

答 ①重要となる基本4項目のうち合併の方式(新設合併)、合併の期日(平成18年3月27日)、本庁舎の位置(光町役場)が既に決定しています。新町の名称については、9月21日の合併協議会で決まると思います。「横芝光町」で決定

用するほか、両町に総合窓口を置くことが決まっています。また、合併後の新町の職員数が過大とならないよう配慮しながら組織・機構を充実させることが必要と考えます。

◆産業振興

問 ①今年の夏を総決算してみても町内の観光商工業の状況はどうであったか

②水田転作の状況とそれに代わる作物・作目の検討はどうなっているか

答 屋形海岸へは近年に増し3万人が来遊、2年振りに再開された花火大会は、6万人以上の大観衆を魅了しました。また、商店街については、飲食店、コンビニエンスストアの売り上げは伸びています。衣料品は横ばいという聞き取り調査の結果等から総合的に判断し、町や商店街にとって活気に満ちた夏であったと思います。

②本年度転作率は、目標318・5haに対し、実績190・3haで59・7%の達成率でした。転作物物の取り組みとして、ネギ、トウモロコシ、カボチャ、ブロッコリーの定

着を考えています。また、北清水地区については、ブロッコリー・テーシヨンによる麦・大豆の団地化が図られています。今後、積極的に進めてまいります。

◆防災対策

問 各種災害に対する初動体制はどうなっているか

答 災害の発生した場合や発生の恐れのある場合、住民への周知方法については、防災行政無線の一斉放送でお知らせしています。また、職員や消防団の招集体制は、「横芝町地域防災計画」に基づき作成した災害初動マニュアルを全職員等に配布し、緊急時の対応が迅速にできるよう努めています。

◆新町制50周年

問 ①節目の年に当たり町民に対して伝えたいこと

②記念事業の開催について
答 ①節目50周年を記念し、町内の字や地名、各集落の由来などをまとめた「横芝町地名辞典」を全世帯に配布予定ですので、この中で現在の横芝町の誕生から今日に至る50年